進路だより

秋田県立秋田きらり支援学校
第６号
令和２年３月５日発行

副校長より

「マラソン」と「進路」

（あるある　むかしばなし）

　私は年に数回、マラソン（まぁジョギングとも言います）に出ています。目標は「制限時間内にゴールする」です。「秋田内陸チャレンジマラソン（５０キロ）」では、２年連続、ゴールはしましたが制限時間７時間にとどかず、「たったあと１５分」で「途中棄権者」になっています。半分以上歩くので、ちょっと頑張ればいいのですが、頑張れません。

　私が走り始めたのは、比内養護学校採用３年目に、高等部３年生を担任した時からです。ある生徒に「就職しても趣味をもたないと仕事は続かないぞ！あなたは走るのが得意だから、毎月マラソン大会が各地であるから趣味にしたらどうだ、週末は練習できるし」と話をしたところ、「先生だけずるい！一緒に走ってくれたら大会に出てもいいけど」と言われ、結局、私も十和田の「ヒメマスマラソン」に参加することになってしまいました。

　マラソンのことを「よく走れますね、私は１００ｍも無理！」と言う人もいますが、マラソンは、上位入賞を目指す人、自己タイムの更新を目指す人、仲間と楽しむ人、健康のために走る人、制限時間クリアを目指して走る人、完走を目指す人、家族や自分の願いのために走る人、おいしい生ビールを飲むために走る人など、一人一人が目標を立て楽しむことができます。

　一緒に走り始めた卒業生は４８歳になりました。一年に一回は我が家に泊まり、一緒に「秋田ファミリーマラソン」か「五城目朝市マラソン」に出場しています。昨年からは「仙台ハーフマラソン」にも、仙台のカプセルホテルに泊まり一緒に出場しています（まだ、私は彼には勝てません、いつか勝ちたい！）。

　彼の個人的な話になりますが、ご両親はすでに他界され、今はグループホームで生活し、福祉施設で働いています。卒業した時は、ワープロのプリンター部分を製造する工場に就職し、２０歳からの障害者年金と給料、残業手当等を合わせると、私よりも手取り１０万円もよかったと記憶しています。今は、年金と最低賃金ぎりぎりの給料ですが（失礼！）、グループホームの費用、生活費、貯金、趣味で十分生活を楽しんでいるようです。

　３０年前も「親亡き後をどうするか」がＰＴＡや研修会の大きなテーマでした。当時は、高等部に進学し卒業後に成人施設に入所する道は厳しく、中学部卒業後にすぐ児童の入所施設を探す保護者、子どものために高等部入試にチャレンジしても、定員８名に対し受検者４０名、比内支援中学部から１～２名しか合格できない厳しい現実、の時代でした。

　当時は、私も２０代で保護者にとっては頼りない進路担当だったんだろうと思いますが、今振り返ると「子どものために『今を大切にする』」ことが一番大切だった」と思います。

　「進路」は「マラソン」と似ていて、どこに目標を置くか、で変わってきます。「今を楽しむ」、そして友達や仲間をいっぱいつくる、子どもたちの頑張りを多くの方に知ってもらう、ことが大切だと考えます。当時の保護者は「学校時代はよかった」といいますが（だいぶ世の中も変わってきていますが）「人生全てがよかった！」と言えるよう、まずはＰＴＡ活動に参加して、仲間をつくり、世の中に発信して、世の中を変えていくために一緒に頑張りましょう！

進路だよりアンケート結果について

アンケートに御協力いただきまして、ありがとうございました！アンケート結果は以下のとおりです。結果を元にして、来年度改善できるようにしていきます。アンケートへの御協力ありがとうございました。

1　回答数

小学部　３５／５１（６９％）
中学部　１７／２５（６８％）
高等部　２７／３３（８２％）

2　進路だよりは読んでいますか。「はい」の回答数

小学部　２９／５１（５７％）
中学部　１６／２５（６４％）
高等部　２７／３３（８２％）

高等部の保護者の皆様の関心が高いです。卒業を間近に控え、新しい事業所やサービスについての情報が求められていることを感じました。

3　参考になった記事ランキング

卒業生の現在の生活

福祉サービスの紹介

新しい事業所の紹介

「卒業生の現在の生活」が参考になったという回答が多かったです。「卒業後の生活について個人で聞いたりする機会がなかなかないので、参考になった」というご意見もいただきました。

4　参考になった理由（抜粋）

・近い将来、もっと先の将来の見通しをもてた。
　今は必要のないサービスでも今後必要性が出るかもしれないので参考になる。
・進路先や事業所での活動（１日の流れなど）がよくわかるのでとてもよかったです。
　子どもたちの学校での進路学習の様子がわかるのもよかったです。
・進路を決定するにあたり、様々なサービスを把握したかったから。

5　進路だよりは読んでいないと回答した方の理由

・内容が難しい
・就労されている方向けの情報が多いように感じられ、あまり目を通さなくなった。

就労だけでなく、生活介護や就労継続支援、療養介護など、通所や入所も含めて幅広い進路先についての情報を提供できるように、内容を検討していきたいと思います。

6　今後知りたい内容

・卒業後の施設での日常生活、地域活動の様子。
・自宅への福祉用具の取付例（お風呂のリフトなど）。どこで相談、支援してもらったか。
・医療的ケアが必要なので、子どもの状態に合わせた内容をもっと知りたい。
・入浴サービスに関する情報があれば知りたい。

「ヒントになることが多くて参考にしている。」「分かりやすいまとめ方がされていた。」との励ましのお言葉もたくさんいただきました。本当にありがとうございます。保護者の皆様のご意見を参考に、次年度も役立つ進路だよりを作っていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。　（進路指導部員一同）